平成 29 年度　栃木工業高等学校　情報技術科　課題研究

09_卒業生データベースの制作

研究者　　市村　悠　　稲川　健太　今井　春輔　篠原　宗希
指導者　　大塚　晴司

1. 研究動機

本校の卒業生進路先は紙で情報を管理していています。会社の情報を管理するのは大変だろうなと思っていた時に、実習で学んだデータベースの知識や昨年度の課題研究の発表で、データベースについての発表があり、本校の就職データベースを作ろうと思ったことが動機です。

図1　会社別の卒業生管理のカードとバインダ

2. 目的

卒業生の就職先を MS-Access で管理できるようにする。

現在進路で使っている3年生の進路データベースとリンクをするようにする。

3.研究過程

(1)進路データベースに入力されている企業情報を整理

過去20年分の企業情報が入っているので企業情報カードと照らし合わせて不足している企業をピックアップする。

調べたところ約3000件近くの企業情報がありませんでした。

(2)不足している企業情報カードから企業の住所、電話番号、郵便番号などの情報を整理しデータを入力

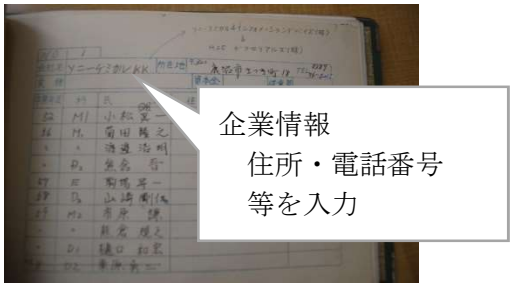

図2　企業情報カード

この作業が地味ですが進路データベースの情報をチェックしながら8ヶ月かかりました。

入力書式は進路のデータベースをもとにリンクできるような形式で整理しました。

図2　Excel での情報を整理

(3)卒業生名簿を入力

今までの卒業生名簿は同窓会名簿のデータを頂いたので情報入力の手間が省けました。

(4)進路のデータベースとリンクをするように設計をする

卒業生名や企業情報が変更あったときに進路のデータベースと情報が共有できるようにデータベースを設計しました。

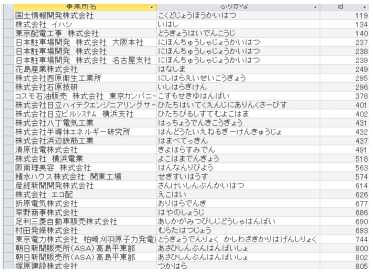

図3　データベース設計画面

(5)データを整理してデータベースを制作する

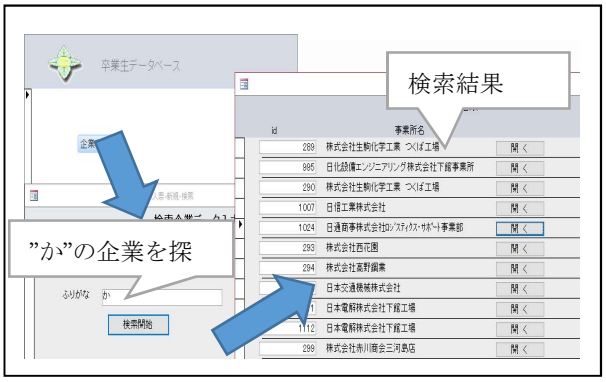

図4_制作したデータベースを使った結果

5.考察・感想

やっていること単純ですが、栃木工業高校の歴史とともにある就職した卒業生の多さは、感心するとともに膨大な量の資料となっていました。

単純がゆえに作業が中心となりましたが、集中し取り組み完成することができました。これからも続く栃木工業高校にとっていいデータベースになったのではないかと思います。

お世話になった栃木工業高校に残せるものができてよかったです。

今回は情報入力までしかできなかったので、より使い勝手のいいものにしてもらいたいです。